



## 1/24~1/30 全国学校給食週間 給食の歴史&献立の変遷



学校給食の起源は、明治22(1889)年にさかのぼります。山形県の大誓寺というお寺の中にあつた小学校で、お弁当を持ってこれない子どもたちに、昼食を無償で提供したことが始まりとされています。その後、全国へと広がりましたが、戦争による食料不足などの影響で中断されてしまいました。



戦争が終わっても食料不足は続き、子どもたちの栄養状態が心配されたことから、学校給食の再開を求める声が高



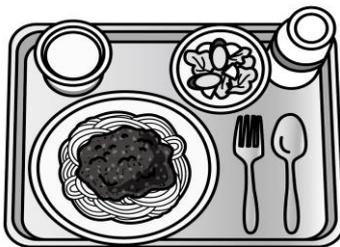
給食用物資贈呈式

まりました。アメリカのLARA(アジア救援公認団体)から贈られた物資を使い、昭和22(1947)年1月に給食が再開しました。

★昭和21(1946)年12月24日に物資の贈呈式が行われたことから、この日を「学校給食感謝の日」としましたが、冬休みと重なるため、昭和25(1950)年度からは1月24日~30日を「全国学校給食週間」とすることが定められました。  
★昭和29(1954)年に「学校給食法」が成立し、学校給食の実施体制が法的に整い、教育活動として位置づけられるようになりました。



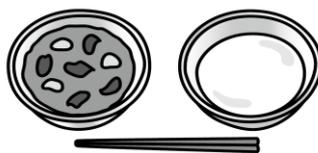
### 昭和40年代ごろの給食



パンの種類が増え、めん類も提供されるようになりました。脱脂粉乳のミルクは牛乳へと切り替わりました。

ミートスパゲッティ・牛乳・フレンチサラダ・プリン

### 昭和22年ごろの給食

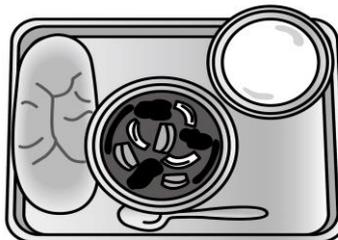


脱脂粉乳や缶詰などの物資を使って給食が作られました。

トマトシチュー・ミルク



### 昭和25年ごろの給食

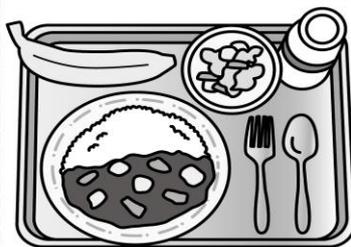


アメリカから寄贈された小麦粉を使って、パン・ミルク・おかずの完全給食が始まりました。

コッパン・ミルク・カレーシチュー



### 昭和50年代ごろの給食



給食の主食はパンが中心でしたが、昭和51年に米飯が正式に導入され、献立の内容も豊かになっていきました。

カレーライス・牛乳・塩もみ・バナナ

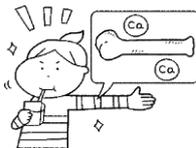


## 牛乳、飲んでいますか？

秋ごろから牛乳の残りがとても多くなっています。

牛乳にたっぷり含まれているカルシウムは、体をつくる成長期にはとても大切な栄養素です。骨にはカルシウムがたくさん蓄えられていますが、

20歳代を過ぎると骨のカルシウム量はどんどん減っていきます。今のうちにしっかりカルシウムを蓄えられるよう、給食の牛乳を飲んで、さらにおうちでももう一杯飲んでみましょう。



### 今月の地場野菜(使用予定)

- 【福生市】さつま芋、長ねぎ、だいこん、はくさい
- 【羽村市】チンゲン菜、にんじん、キャベツ、はくさい
- 【瑞穂町】こまつな

